

飯南

い
い
な
ん

議 会 報

- 02 陳情
- 03 可決された主な議案
平成26年度 一般会計補正予算
- 04 一般質問
- 08 議会は見ている〈大型投資の行方〉
- 09 討論
採決の結果
- 10 常任委員会報告
議会全員協議会の議題
議会活動報告
- 12 明日を拓く

第38号
平成26年7月18日



6月定例会終わる

6月10日から6月20日までの11日間の日程で開きました。

カントリーエレベーター基本構想決定

6月定例議会は飯南町税条例等の改正、平成25年度予算の精算及び職員人件費にかかわる予算の補正が主なものであった。

それに先立ち、5月臨時会ではJAカントリーエレベーター施設に対する補助金7億円余を可決した。

この施設は、生もみ中のたんばく質含有量を測定し、たとえば7%未満とそれ以上のものを分別して乾燥機に張り込む機能を持っている。

こうして分別されたたんばく質含有量の少ないエコ米を、食味に優れた飯南米としてJAが有利販売する。そのためには、

- ほとんどの稲作農家がエコ米生産に取り組み。
 - 食味向上のための継続的研究と栽培暦の更新。
 - 栽培暦の遵守とGAP（農業生産工程管理）の導入による均一性と安全性の確保。
 - JAの強力な営業活動による販路の新規開拓。
- など、この施設を生かすためには課題も多いが、米の価格下落に抗し、優良産地として生き残っていくためには努力を惜しんではいけない。

「可決された主な議案」

■条例関係

飯南町税条例等の一部を改正する条例など4件

■補正予算

平成26年度飯南町一般会計補正予算（第2号）など6件

■諸議案

飯南町過疎地域自立促進計画の変更など3件

■契約締結

財産（除雪ドーザ）の取得など2件

■報告

飯南町一般会計繰越明許費の報告など2件



「陳情」

株式会社来島牧場の進入路改良に関する陳情

〔陳情者〕

飯南町頓原1991-1
飯南酪農農業協同組合

代表理事組合長

別木 康吉

飯南町下来島2735

株式会社 来島牧場

代表取締役社長

灘尾 信行

教育経済常任委員会

〔審査結果〕

継続審査

町道八神千原線の未改良区間の事業実施についての陳情

〔陳情者〕

飯南町八神102615

才谷地区公民館長 大谷 利栄

飯南町八神67212

川西自治会長 和田 洋一 外18名

教育経済常任委員会

〔審査結果〕

採択

3月定例会継続審査分

〔陳情者〕

飯南町下赤名1770

福田自治会長 宇山 寛元 外26名

教育経済常任委員会

〔審査結果〕

採択

【平成26年度 一般会計補正予算】

町道リフレッシュ事業など 6千316万円増額

各会計	補正予算額	予算総額
一般会計	6千316万円	82億7千789万円
特別会計	国民健康保険事業	△57万円 6億6千363万円
	介護保険サービス事業	△134万円 2千670万円
	簡易水道事業	123万円 3億5千734万円
	下水道事業	△124万円 4億2千131万円
	病院事業会計	555万円 11億8千672万円



一般質問

6月定例会



長島 正一 議員

Q 介護保険改革、対応は

国は来年度から特別養護老人ホーム入所を、原則要介護3以上に限定し、要支援1、2の方の支援を自治体に移行する方針だが、どのように考え対応するのか。

A 国の指針を注視

町長 山崎 英樹

特養に入居できる人は、原則として「要介護3〜5」の人限定される。

「要支援1、2」の方の通所介護・デイサービスなどが、段階的に市町村事業に移されていくことから、今後示される国の指針の内容を注視したい。

Q 投資効果 どう引き出す

地域資源を生かした6次産業化による雇用の拡大が重要視され、本町も推進のために多額の資金が投下されているが、投資効果を最大限引き出すため、どう考えているのか。

Q 大型投資、財政は大丈夫か

町長 山崎 英樹

この数年、本庁舎建設をはじめ、大注連縄創作館、酒づくり交流館、iまるシエ、カントリエレベーター建設など大型投資が集中している。指定管理料などが増加しており、投資効果に疑問がある。

施設の運営方針、長期的財政運営の見通しを問う。



酒づくり交流館

A 最重要課題は 定住促進

町長 山崎 英樹

定住は、本町の最重要課題。その推進のために産業の振興にしっかりと取り組む。伝統技術、地域文化の伝承による雇用の創出、交流人口の拡大などにより地域振興に努めていく。

A 住民福祉を 確保して臨む

町長 山崎 英樹

施設の指定管理料は平成26年度予算で総額1億3700万円で、100人を超える雇用の場になっている。都市であれば民間で運営されるものが、人口の少ない地域では住民福祉確保のため、行政が担う宿命にある。

必要な社会インフラは今後も整備していくが、有利な財源を確保し、将来負担にならないよう、規律を守りながら財政運営を図る。

Q カントリーエレベーター運営の鍵は

厳しい農業情勢の中で、大きな投資額を要するカントリーエレベーターが建設されるが、計画通り米が集まるか危惧する。

目的達成には、認定農業者や法人等の協力がカギとなると思うが、考えを問う。

A 特別栽培米の 普及を

町長 山崎 英樹

施設は、コシヒカリを「慣行米」、「エコ米」、「良質なエコ米」の3つに区分管理が可能であり、本町の風土と特色を生かした飯南町特別栽培米の普及推進により「いいなん米」の有利販売を目指したい。

利用料金を据え置くということなので、生産者の意向向上と利用メリットが理解いただけると考える。

一般質問

6月定例会



内藤 眞一 議員

Q 防災体制はどうか

A 自治防災組織と連携で

防災計画の整備は

町民の生命と財産を守るのは行政の役割だが、防災計画はどのように整備されているのか、梅雨の時期を迎えて問う。

風水害に対する 防災計画が基本

町長 山崎 英樹

防災計画は、県の改定を受けて平成25年10月に改定した。本町では、それに基づく風水害対策を基本にしている。



防災行政無線施設

町民への周知の方法は

役場職員の災害対策体制に入る基準と災害対策本部等を設置したときの町民への周知方法はどうか。隔年で防災訓練が実施されるが、避難経路などを皆が理解できているか疑問がある。

町民には 音声告知放送などで告知

町長 山崎 英樹

警戒体制、警戒本部体制、災害対策本部体制の3段階があり、大雨警報、洪水警報の発表があったとき、防災担当職員が集合する。本部体制は、町長副町長の指示により全職員に通知する。

町民には音声告知放送などで告知しているが、自治防災組織がいかに働くかが重要だ。伝達手段が閉ざされたときに働く仕組みづくりが大切で、自治区で取り組んでいただいている。

災害時には臨機応変に行動し、みずから命を守ることも大切だが、体制づくりは啓発を図りながら進めて行く。

Q iまるシエの状況は

A 消費者の認識を得られるよう努力

町長 山崎 英樹

開設から約8カ月が経過したが、売り上げの状況はどうか。

売り上げの状況は

町長 山崎 英樹

iまるシエは昨年10月30日にオープンして、本年3月末までの営業日数は142日、レジ通過客は2万6810人、1日平均189人、売り上げ総額は2717万円、1日平均19万円だ。

Q 商品の売れ方はどうか

A 産品の売り上げ額は、約1350万円あり、国道54号通過交通量減少への成果はあったと考えている。

商品の売れ方はどうか

町長 山崎 英樹

生産者は「三次に出しても売れ残るし、あまり売れる気がしない。」と言っている。また、定休日が毎週水曜日に変更されたが、理由は、

青物の品薄が続くと悪循環に

町長 山崎 英樹

加工品は冬の期間も出荷され、安定的な売り上げがある反面、青物の品薄が続くことで集客も少なくなるという悪循環に陥っている。

生産意欲を喚起する支援は

町長 山崎 英樹

野菜が出てこない理由は、生産が追いつかないというのが実態ではないのか。

施設園芸をしっかりと振興

町長 山崎 英樹

野菜の生産農家は二十数年前と変わっていないので、施設園芸をしっかりと振興しなくてはならない。

広報誌を配布して情報を生産者へ伝えたり、店頭イベントの回数を増やし、消費者の認識を得られるよう努めている。

一般質問

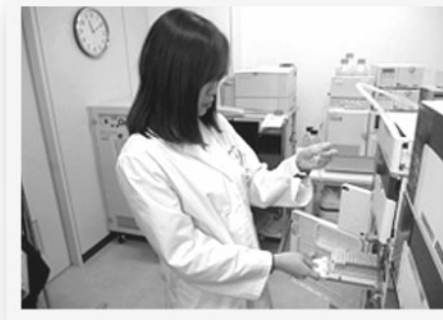
6月定例会



伊藤 好晴 議員

Qがんの早期発見のために

二人に一人ががん患者といわれ、早期発見は重要な課題である。国の調査では、がん患者の就労実態は約半数が退職・失業と深刻な状況だ。早期発見が重要であるのに、本町の前年度の健康診断受診率は45・3%と低い実態だ。5ccの採血で簡易にがんのリスクを診断する「アミノインデックス」という解析サービスを導入している自治体や医療機関もあると聞くが、本町で導入する考えはないか。



A関心をもって対応したい

町長 山崎 英樹

「アミノインデックス」は、簡易にがんのリスクを予測、評価する検査。本町では平成22年度島根大学医学部の研究協力依頼があり、疾病の関連性を調査された経緯がある。現段階では確立した検診方法ではないようだ。

また、鳥取県南部町で導入事例がある。がんのリスクを予測したのち、患者は精密検査が必要となり負担が増える上、医療機関も機器整備やシステム確立等が必要で、今の段階では導入する状況にない。今後も関心をもってみるとともに対応していきたい。

Q子ども・子育て支援新制度は

来年度から「子ども・子育て支援新制度」が導入される。この中で認定こども園は幼保連携・幼稚園・保育所・地方裁量型等に分けられ、中身は保護者・関係者ともよくわからないのが実態だ。

また、株式会社参入など、保育の市場化に道を開くもので、保育の責任後退の流れで見逃ごせない。

全ての子どもへの豊かな教育、保育を受ける権利の保障は国と自治体が責任をもって行うべきである。これら保育所基準の改善など、国に要望することを求めるが、町長の考えを問う。



さつき保育所

A実態に即した保育事業を進めたい

町長 山崎 英樹

ご指摘のとおり詳細は不明な部分もあるが、制度は来年度から導入が予定されている。国も規制緩和により、企業進出等も進めている。本町では現在子ども・子育て支援会議において議論いただいており、飯南町の実態に即した保育事業を進めたいと考えている。

また、国に対しても公的な責任の後退、保育の質の低下が懸念される様な時は、しっかりとりたい。



桜ヶ台保育所

一般質問

6月定例会



門 眞一郎 議員

Q豆腐を町の特産品に

豆腐は、非常に安価な一品であるが、原料である北米産大豆には遺伝子組み換え大豆が含まれているものがある。遺伝子組み換え大豆は、グリホサートなどの非選択型除草剤をかけると、他の草はみんな枯れてしまうが、大豆はびんびんしているという恐ろしい植物である。消費者はこのことに気づき始め、安全性を意識するようになってきている。

町内産の豆腐は、飯南町産大豆と、北海道を主産地とする大豆が原料で、生産・加工・販売まで顔の見える商品である。その上、味がよい。

豆腐は京都の名物の一つだが、京都ではなく飯南町へ行くという仕掛けがつくれるのではないか。戦略的加工作品ということばがあれば、豆腐はこれに当たると思う。

6次産業の優等生、豆腐に着目して、販路の拡大を試みてはどうか。



リピーターの多い町内産の豆腐

A豆腐づくりを支援していきたい

町長 山崎 英樹

町内産の豆腐は、消費者に高く評価され、リピーターも多いと聞く。消費者が店頭で選ぶ豆腐づくりを支援していきたい。

「おいしいものを食べるに飯南町へ」という仕掛けづくり、都市部への情報発信、PRをしつかりやっていく。

Qエコロジ―農家の拡大に努力を

本町のエコロジー米比率は、25年度40・3%だ。目標は28年度80%で、道は遠い。

認定農家の拡大は、人海戦術で一軒一軒農家をお願いするという方法が一番確実ではないか。

福井県のJA「越前たけふ」では、職員が各戸を訪問し、申請書を作成し、まとめて申請することである。認定を受けていない農家は、個人経営、または二種兼業農家で、この方法しかないと思う。

この度、一般的なエコ米と食味のすぐれたエコ米を分別できるカントリーエレベーターが導入されるが、すぐれた道具でも、使いこなす技術がなければただの箱である。

農家の協力や向上心を刺激する政策、消費者の認知度を高めるための戦略が重要であり、生命地域を自認する本町の米がいつまでたっても慣行栽培であってはならないと考える。

A認定農家拡大に向け、取り組み

町長 山崎 英樹

一軒一軒訪問するということが、どういう手法で進めていくか、対策を詰めるながら認定農家拡大に向け、しっかりと取り組んでいく。

また、進まない理由の一つに価格の問題がある。カントリーエレベーターが整備されると、品質に見合った精算をするということなので、エコ米への取り組みも加速できるのではないかと。

施設を整備しても、そこへ入れるものがしっかりとしたものではなくてはならないので、車の両輪の考えで進めていく。



討論

議案第51号 飯南町税条例等の一部改正

法人町民税の内、法人税割の税率を引き下げ、これを地方法人税として国税化し、地方交付税の財源に充てる。地方消費税により自治体間の格差がますます拡大している。これを是正するため地方自治体から既存収入の一部を国税化し、交付税として再配分するもの。自動車取得税を原資とし、交付金が減ることは確実だ。バイクや軽自動車等の増税分でカバーできなければ本町にとって減収になる。仮に減収にならないとしても、庶民増税の犠牲のうえに立ったものだ。

反対討論 伊藤 好晴議員

他の税目に比べ、地方法人二税の地域間格差が大きいため各自治体は格差是正を求めている。しかし、格差を大きくしている要因は地方消費税であり、これを抜きにして格差是正を論ずることは地方財政の消費税頼みの方向性を認めてしまふことになる。地方財政の危機打開、及び自治体間格差の是正は、既存の交付税財源の法定率引き上げなど、政府の責任において財源を保障し、調整すべきものだ。

賛成討論 小野 覚議員

今回の税制改正に当たって、地方6団体の代表からの意見は少なからず懸念を感じられるものであったが、今回の改正に反映されたものと思っている。消費税増税も、現在の財源を考へればいたし方ないし、地域間の税源、偏りを是正する財力格差の縮小を図るため、今回の税制改正はやむを得ないので賛成だ。



自動車取得税は全廃といわれているので、本町の収入はさらに減る。いっその庶民増税への道をたどるのか。いずれにしても、自治体財政と国民・町民の暮らしに犠牲を押しつける方向でしかないのでは反対だ。



【6月定例会】

全15議案のうち、反対があった議案の採決結果は次のとおりです。

件名	結果	小野 覚	伊藤 好晴	永井 章	長島 正一	門 眞 一 郎	熊谷 兼 樹	内 藤 眞 一	早 樋 徹 雄	高 橋 英 次
飯南町税条例等の一部改正	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○

○賛成議員 ●反対議員

【陳情の採決結果】

町道八神千原線の未改良区間の事業実施についての陳情	全会一致で採択
---------------------------	---------

【第3回臨時会(5月12日開催)】

専決処分案件6件を全会一致で承認 平成26年度飯南町一般会計補正予算(第1号)を全会一致で可決	
--	--

【陳情の採決結果】

福田川の改良についての陳情	全会一致で採択
---------------	---------

大注連縄創作館

建設中

事業主体 飯南町
 総事業費 1億6973万円
 建築工事 1億4345万円 造成工事 2628万円
 設置場所 飯南町花栗54番地2
 設置目的

- ①稲わらを活用したしめなわづくりと6次産業化
- ②しめなわ文化の伝承
- ③しめなわ創作を中心とした都市農村交流の促進
- ④周辺施設と連携した施設の活用と誘客



屋根工事が進む創作館

創作館の運営は、製造施設、観光施設のどっちつかずにならぬような注意が必要です。雇用の場としてこれが活用されるためには、しっかりとした営業活動と生産体制を持つことが重要になると思われます。

飯南町交流物産館

営業中

事業主体 飯南町
 総事業費 5320万円
 内装工事 4303万円 設備備品等 1017万円
 設置場所 三次市三次町141番地1
 指定管理者 有限責任事業組合「飯南パートナーズ」
 設置目的

- ①飯南町の特産品、農産品、地域食材の販路拡大
- ②飯南町の情報発信
- ③周辺市町との交流事業の展開



通称「iまるシエ」

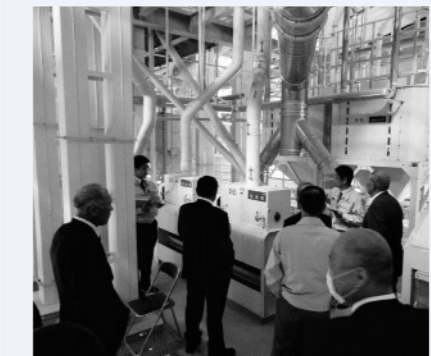
三次市民にとって飯南町はなじみの深い町ですが、それだけに評価は厳しいものがあります。消費者の支持を得るためには、これぞ飯南町という強力なメッセージを発する必要があります。生産者、施設経営者がひとつの理念を共有し、消費者に発信することができるかがカギとなるのではないのでしょうか。

カントリーエレベーター

計画中

事業主体 雲南農業協同組合
 総事業費 11億6920万円
 設置場所 飯南町下赤名1256番地1
 設置目的

- ①食味値によって「いいなん米」を区分管理
- ②品質向上による「いいなん米」のブランド化と有利販売
- ③米政策が大きく転換する中で生産者の所得向上を図る



雲南市のカントリーエレベーターを視察

米のブランド化を目指す上では、食味が良いことが必須条件ですが、飯南町の米で食味値80を越えるものは多くありません。この問題を解消するためには、窒素の施用量が制限されるエコ米栽培に全農家に取り組むことが早道だと思います。エコ米拡大に向けた政策がカギを握るのではないのでしょうか。

酒づくり交流館

事業主体 飯南町
 総事業費 1億1963万円
 建屋改修 5676万円 醸造施設更新 5974万円
 施工管理等 313万円
 設置場所 飯南町上赤名23番地3
 指定管理者 赤名酒造合名会社
 設置目的

- ①飯南産酒米を活用した酒づくりと6次産業化
- ②酒づくりを中心とした都市農村交流の促進
- ③公民館や地域と連携した施設の活用



改修進む赤名酒造

「地元の米で醸した地酒を氏神に奉げ豊作に感謝する。」かつて農村で継がれてきた習慣で、今でも祝い事や祭りには地酒が欠かせません。もともと農村と酒造りには深い縁があるので、今後も存続していくには、地域の酒造文化を守りながらも、収益を上げていく経営が求められます。



教育経済 常任委員会

委員長 熊谷 兼樹

平成26年度 一般会計補正予算

町道リフレッシュ事業 4,400万円

「陳情箇所を優先して改良しているのではないか」との質疑があった。それに対し、「大規模な改修については、陳情も一つの手段であり、議会の採否をふまえ、利用度や緊急性により総合的に判断する。」との回答であった。

道路改良に当たっては公平性も大切であることから審査意見を付した。

多面的機能支払事業 110万円

事業の根幹である実施組織の継続的な運営について不安視する意見があり、交付金の一部をプールし、事務職員を雇用し事務処理する提案があった。

高齢化が進む中、限界にきている組織もあるので、実状調査と必要な対策をとるよう求めた。

中学校教育振興共通臨時管理費 234万7千円増額

生徒用タブレット型パソコン導入には、周辺機器・ソフトの購入費用が当初予定より多額に必要なことが判明した。先送りできる予算で組み替えるものだが、見通しの甘さを指摘した。

審査意見

道路橋梁新設改良費

町道改良は、町道全体で優先順位を検討し、実施する方針であった。

現状は、陳情が提出された路線が優先されている傾向がある。町道の整備計画を明確に示し、改良に努めるべきだ。



修繕予定の町道程原線



総務厚生 常任委員会

委員長 小野 覚

飯南町税条例等の一部改正

地方税法等の一部改正に伴う飯南町税条例等の一部改正で、これにより

(1) 法人町民税法人税割の税率が本年10月1日から現行の14.7%から12.1%に改正される。

(2) 軽自動車税等の税率が平成27年4月1日から改正され、課税最低額を2,000円に引き上げ、農耕用・特殊作業用・軽貨物等を除き約1.5倍に引き上げられる。また、グリーン化を進める観点から、新規登録から13年を経過した軽四輪車等について平成28年度分から標準税率の概ね20%が上乘せ課税される。

飯南町障がい者共同生活支援施設の設置及び管理に関する条例の改正

現在の入所者定員6人を7人に改めるものだが、条例改正にあたり意見書を付した。

審査意見

飯南町障がい者共同生活支援施設の利用者増加に対しては、今後も町内空き家住宅の積極的な活用を図りたい。



障がい者共同生活支援施設(頓原)

飯南町福祉医療費助成条例の一部改正

福祉医療対象者の医療費負担の軽減を図る目的で、自己負担限度額を一般世帯は現行の約2分の1、低所得世帯は約4分の1に、本年10月1日から引き下げられる。

議会活動報告 [4月~6月]

- 4 2日 議会広報編集委員会:一般質問要約作業
- 4日 議会広報編集委員会:委員会報告、紙面校正作業
- 8日 議会広報編集委員会:紙面校正作業
- 22日 教育経済常任委員会:陳情審査
- 30日 議会全員協議会
- 5 8日 教育経済常任委員会:雲南カントリーエレベーター視察
- 12日 議会運営委員会:臨時会の提出議案、日程外の協議
臨時議会:提出議案の説明、質疑、討論、採決
- 15日 総務厚生常任委員会:町内保育所調査
- 21日 議会運営委員会:新庁舎議場協議
- 29日 教育経済常任委員会:畜産振興ほか
- 30日 議会運営委員会:新庁舎議場協議

- 6 6日 議会運営委員会:6月定例会の提出議案、日程外の協議
議会全員協議会
- 10日 6月定例議会:本会議、町長提出議案の説明、質疑、委員会付託
- 13日 :本会議、一般質問
- 16日 :委員会審査
- 17日 :委員会審査
- 18日 :委員会審査
- 19日 :予算特別委員会審査、議会全員協議会、委員会審査
- 20日 6月定例議会:本会議、委員長報告(質疑)、討論、採決
- 26日 議会広報編集委員会:一般質問要約作業

議会全員協議会の議題

- 4月30日
 - ①飯南町穀類乾燥調製貯蔵施設
 - ②緊急雇用事業(企業支援型雇用創出事業)
 - ③町営バス転落事故に伴う損害賠償
 - ④青年農業者に対する資金貸付の返還免除
 - ⑤スクールバス購入事業本年度予定
 - ⑥学習支援館の法人化
 - ⑦財団法人飯南町農業公社解散
 - ⑧出納事務
 - ⑨庁舎建設
 - ⑩町長長期出張
- 6月6日
 - ①出納事務
 - ②高速バス広島松江線のダイヤ変更
 - ③新庁舎平面図
 - ④橋名板盗難の被害報告
- 6月19日
 - ①神戸川の潮発電所水利使用に関する調整会議
 - ②高速バス広島松江線のダイヤ変更
 - ③庁舎建設にかかる保賀町有林

(株)エリーゼのステップ。

加圧玄米の販売状況
はどうですか？

〈別木〉近畿地方限定ですが、郵便局のギフトカタログ販売が始まりました。

県内の温泉施設で玄米販売と玄米お菓子の製造販売がされています。

町内の宿泊施設や道の駅等で玄米などの委託販売を行っています。



営業の別木 由則さん(花栗)

この仕事について
勉強したことは？

〈加藤〉会社に入るまでは玄米に興味は無かったのですが、整腸効果があることや多くの方が玄米を食べられていることを知りました。

加圧玄米は家庭用炊飯器の白米モードで普通に炊きあげられます。是非ご試食下さい。

玄米を食べると便秘改善効果があるというコトは？

〈別木〉加圧玄米はトウモロコシ由来の水溶性食物繊維を加えてあるため、通常の玄米より食物繊維を多く摂取でき、便秘改善効果などが期待できます。

町に期待するコトは？

〈別木〉学習支援館(米島基幹集落センター内)で勉強している生徒さんたちに玄米粥を試食いただいています。(集中力が高まると言われています。)

玄米粥を一般の方にも1袋100円で販売していますので、ご試食いただきたいと思います。

〈加藤〉学校給食など、町内施設でご利用いただきたいと思っています。お電話をいただければ試食品を持参します。

〈別木・加藤〉工場の本格稼働が遅れ、ご迷惑ご心配をおかけしましたが販売先も確立され始め、これから忙しくなります。温かく見守っていただきませうようお願いいたします。



営業事務の加藤 彩さん(塩谷)

※工場見学について

ご希望の方は、株式会社エリーゼ飯南支社へお電話(76・9341)下さい。

事務所は旧JA赤名支所(JA赤名マーケット横)です。

■工場概要

従業員数15人(うち町内の方11人)
平成26年4月
地元高校卒業生1名を採用
加圧玄米最大生産数量
150トン/月

今月の表紙写真



工場では、玄米に6000気圧をかけた加圧玄米がライン生産されていきます。下赤名にある(株)エリーゼの工場では、玄米のほのかな香りが漂ってきます。写真の工程は石抜きと水洗された玄米が、長い筒状の加圧装置に封入されるところです。

エリーゼの工場には加圧技術の開発企業である(株)かどまさや(和歌山県)が製造を受託し、工場長も派遣されており、経験と確かな技術で製造しています。

編集後記

今定例会は、昨年の選挙を経て新しい議会構成になり1年が経過する、4回目の定例会でした。

この1年は、正副委員長を除く議員が複数の常任委員会に所属するなど、従来とは異なる議会運営で課題もあると感じています。議員全員の努力で克服し、町民の皆様の付託に応えなければいけません。

今定例会中に、東京都議会のヤジ発言など、議員の言動について大きく報道されました。考えられないことですが、このことを教訓にして、さらに自らの言動には責任を持ち、自らを律していかなければいけないと強く心に誓いました。

皆様の声を聞き「活力ある町づくり」に生かしていきますので、議会に対して多くのご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。

議会広報編集委員会 小野 覺